

## 【22\_171技術系メルマガ】「種銭を増やす」から『資金を守る』へのシフト

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今週も良いスタートを切っていきましょう！よろしくお願いします。

もうすぐ6月も終わり、7月を迎えると1年もとうとう折り返し。。。

このメルマガも、毎日書き続けて半年を迎えるというわけですね(笑)

引き続き、365通目を目指して頑張ります。

さて、今回は久々に『資金管理』ネタをテーマにしていこうと思います。

資金管理と一口に言っても、そのアプローチの仕方は様々です。

「ロットをどれだけ張るのか」「口座にどれくらいお金を入れておくのか」

「出金のタイミングは？」・・・並べてみると本当にいろいろあります。

僕が今回テーマの主題に置くのは、『海外口座・国内口座 どこを使えばいいのか』問題です。

□  
└─ ■ 両者の『特徴の違い』を知ることから始めよ  
└──────────────────┘

僕のメルマガを始め、口座やサロンに参加して下さる方には

これまでトレードでどんなことを取り組んできたか、なるべく細かく聞くようにしているのですが

結構多いのが「海外口座でロットを張り過ぎて退場を繰り返した」という話や

「一時期調子よく勝っていたけど、あるときに一気に資金を溶かした」というものです。

いずれの場合も、海外口座で高いレバレッジを張ってトレードしている人がほとんどでした。

これだけを聞くと、「じゃあ海外口座は危ないから、国内口座じゃなきゃダメなんだ」という

極論に飛ぶ人がいますが、僕が言いたいのはもちろんそんなことではありません。

これらの出来事から学ぶべき一番の問題は、『自分の取るリスクのサイズを正確に把握していない』ということです。

▼参考ツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1537601593469722624?s=20&t=jOpANOKoPAP26DpydjnMdQ>

ツイートの中でもちよこつと触れているように、海外口座と(日本の金融庁許認可下の)国内口座の違いは

『レバレッジのサイズ』と『税制』、大きく分けてこの2つです。

細かい点を挙げると、ブローカーリスクなど色々出てきますが、今回の話と逸れるのでそこは割愛しますが。。

資金が少ないうちは、ある程度の金額を稼ぐまでは海外口座でレバレッジのブーストを掛けて運用し

その後資金を国内口座に移して同様に運用、どれだけ稼いでも20%の税金を払えばいい。

という状態に持って行けるのが理想的な流れと言えますね。

鉄板セミナーでも話をしましたが、この考えをベースにして

僕は国内口座と海外口座で、それぞれ同じトレードをする、という運用方法を取っています(ちょっと手間がかかりますけどね 笑)

少ない種銭を先ずは増やす、という考えで海外ブローカーを使っている人が殆どだと思いますが

その時に気を付けておいた方が良いのは『リスクの取り方』です。

確かに、少ない資金を増やすために、ある程度ロットを張る事は必要になりますが

極端なハイレバレッジでのトレードだけが習慣づいてしまうと

『資金を守りながらトレードする』という考えが置き去りになってしまい

いざ国内口座で運用しようとした時に、リスクの制御の仕方が分からない・・・

ということになりかねません。

僕が、運用は常に『利回りで見よう』と言っているのは、これが理由でもあります。

自分がトレードする時に損切りした場合は『資金の何%を失うのか』

対して、決めた通りに利確したら『何%の利益が得られるのか』

このトレードを繰り返したときに『月に何%稼げる見込みがあるのか』

常に、自分が取るリスクとリワードの数字を把握する事こそが、資金管理において本質的に重要な考え方です。

エントリーボタンを押す前に、そのエントリーのリスクサイズ、そこから期待されるリワードのバランス

これを常に確認する習慣を付けておけば

海外口座のハイロットトレードも、有効に資金を増やす武器として活用できるでしょう。